

▶ 第3章

韓国経済の脱中国依存じわり

——最大輸出相手国で米中拮抗時代に

日本経済新聞社 ビジネス報道ユニット記者（前ソウル支局記者）

細川 幸太郎

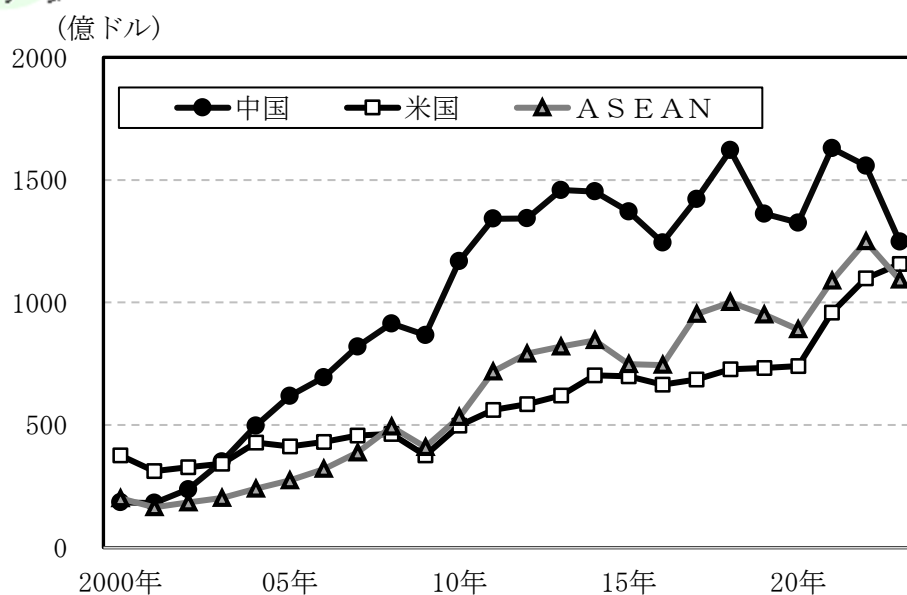
【ポイント】

- ▶ 尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権2年目の2023年は韓国企業の「脱中国」が一層進んだ。現代自動車などが中国工場の追加売却を決めるなど中国市場での成長を見切る動きも出始めた。米国シフトを強めており、米中分断への備えを急ぐ。
- ▶ 現状の韓国最大の貿易相手国は中国だが、23年の輸出額は前年比19.9%減の1248億ドルと輸出総額に占める割合は19%と2割を切った。逆に米国向け輸出が伸び、5%増の1157億ドルとなった。23年12月の単月では20年ぶりに米国が中国を上回って最大輸出相手国となった。
- ▶ 尹政権は政府主導で原発などインフラ輸出、防衛装備品輸出に注力する。安全保障の観点で米国側の「民主主義陣営」に属する韓国は米中分断の中で有利な立ち位置を築く。東欧や東南アジアなどへの輸出拡大を進めている。



注目データ

韓国の主要輸出先の輸出額推移



資料：韓国貿易協会